



無断複製を禁ず

2020年度 第16回

認定コンストラクション・マネジャー資格試験問題

一般社団法人日本コンストラクション・マネジメント協会 資格・試験委員会

108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 6階 TEL:03-5730-7791 FAX:03-5443-3965

第 16 回 (2020 年度) 認定コンストラクション・マネジャー資格・試験 知識試験問題

問題1

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. 日本CM協会が定めた倫理規程では、会員は、発注者の利益に資するようCM業務を行うと定めている。
2. 日本CM協会が定めた倫理規程では、会員は、CM業務の委託または紹介を受けたことに対する謝礼その他の対価を支払ってはならないと定めている。
3. 日本CM協会が定めた倫理規程では、会員は、いかなる事由があろうと、CM業務の委託を勧誘し、または誘発してはならないと定めている。
4. 日本CM協会が定めた倫理規程では、会員は、会員間でのCM業務に関して紛議が生じた場合、民事調停法に基づく調停による解決に従うと定めている。

問題2

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. CMrには、どのような建設プロジェクトにおいても、工事コストを削減する責務がある。
2. CMrには、どのような建設プロジェクトにおいても、発注者の説明責任を代理する責務がある。
3. CMrには、どのような建設プロジェクトにおいても、委託者に業務報酬の内容を説明する責務がある。
4. CMrには、どのような建設プロジェクトにおいても、関係法令との適否を判断する責務がある。

問題3

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. CMrが実施する調達マネジメントにおいて、品質やコスト、スケジュールなどのマネジメントとも十分に連携して調整を進めた。
2. CMrが実施する調達マネジメントにおいて、プロジェクトを完成させるために発注者が直接契約するすべての業務や工事を対象として網羅した。
3. CMrが実施する調達マネジメントにおいて、元請施工者が下請施工者へ資機材支給することをすべて禁止した。
4. CMrが実施する調達マネジメントにおいて、工事発注方式や発注区分の計画策定のために、複数の施工会社から情報収集を行なった。

問題4

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. CMrの助言に起因するトラブルについて、損害が生じた場合であっても、CMrが不法行為責任を問われることはない。
2. CM業務委託契約が解約された後に起きたトラブルについて、CMrが契約期間中の善管注意義務違反を問われることはない。
3. CMrが設計者選定のために基本計画を作成することについて、CMrが建築士法違反を問われることはない。
4. 発注者側のコンプライアンス規定に反するCMrの行為に対して、CMrが発注者から業務委託契約違反を問われることはない。

問題5

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. 発注者の要求事項を整理する際、CMrはその時点で不明確な項目を除外した。
2. 発注者の要求の明示が遅れ、設計スケジュールに影響が出るのが判明したため、CMrはスケジュール上どのような影響が出るかを発注者に説明した。
3. 発注者要求の意味合いがプロジェクト進行中に変化してきたため、CMrはそのことを発注者に確認の上、関係者に説明した。
4. 発注者要求を整理する上で、発注者からの明示はなかったが、CMrは競合他社製品の採用可否を確認した。

問題6

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. プロポーザル方式では、発注者が判断しやすいように提案書の中に具体的な設計案の記載を求める必要がある。
2. 設計競技方式の設計者選定では、各設計者の実績を重点的に評価するようCMrは留意する必要がある。
3. 設計者の選定基準は、事前公表の有無に関わらず、あらかじめ定めておく必要がある。
4. 設計候補者が提案書を作成する段階で、候補者から提出期限の延期を求められた場合には、CMrは変更をする必要がある。

問題7

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. 発注者からCMrに対して生じるクレームの多くは、事前に説明を行っておくことで防げる場合も多いため、発注者に適時適切な説明を行いながらプロジェクトを進めることが重要である。
2. プロジェクト期間中の当事者からの苦情について、特定の関係者の対応に問題があることが明らかな場合には、CMrが当該関係者と協議し解決を目指す。
3. 当事者間で解決困難な紛争は、発注者の求めに応じてCMrが技術的な観点から積極的に解決に関与する。
4. プロジェクト完成後であっても、発生した修繕要求などの苦情に対しては、発注者と協議のうえ、設計者・施工者と調整して対応する。

問題8

下記の記述のAからEにあてはまる語句の組合せとして、適切なものを選びなさい。

【 A 】は【 B 】の補助者、代行者であり、【 B 】の利益を守ることが重要な任務である。また、【 C 】にとっても良き【 D 】であり、建設生産に関与するすべての【 E 】がその力を十分に発揮できるよう尽力し、その仕組みを整える必要がある。また、【 A 】は【 B 】の職務権限を知り得る立場にあり、【 B 】との信頼関係が大前提となる。このため、【 A 】には高い倫理性が要求される。

- | | | | |
|----------|-------|--------------|-------|
| 1. A:CMr | B:発注者 | C:設計者や工事施工者 | D:理解者 |
| | E:関係者 | | |
| 2. A:施工者 | B:設計者 | C:メーカーや代理店 | D:指導者 |
| | E:利用者 | | |
| 3. A:CMr | B:設計者 | C:工事施工者やメーカー | D:指導者 |
| | E:利用者 | | |
| 4. A:施工者 | B:発注者 | C:メーカーや代理店 | D:理解者 |
| | E:関係者 | | |

問題9

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. 設計施工一括方式の設計施工者選定においては、CMrは発注者から委託された業務として自らが選定の権限をもつことを常に認識していることが望ましい。
2. 設計施工分離方式の工事施工者選定においては、施工者の求めに応じて、個別に情報を提供することが望ましい。
3. 設計施工一括方式の設計施工者選定においては、設計・施工に関する技術提案と工事価格との総合点による総合評価を行うことが望ましい。
4. 設計施工分離方式の工事施工者選定においては、CMrが予想した応札者の応札金額を入札上限価格として設定することが望ましい。

問題10

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. CM業務報告書には、出来高などプロジェクトの実績も記載する。
2. CM業務報告書には、プロジェクトの目標達成に必要な改善策も記載する。
3. CM業務報告書には、発注者以外の関係先に配布する場合も、発注者への報告書と同一の内容を記載する。
4. CM業務報告書には、監理業務報告書と重複しても必要な事項は記載する。

問題11

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. 設計施工者の選定において、CMrが発注者の代行者として候補者と交渉することを想定し、契約条件を発注者と事前に協議した。
2. 設計施工者の選定において、マスター・スケジュールを遵守する観点で、設計施工候補者からのスケジュールに関する提案を受け付けないう発注者に助言した。
3. 設計施工者の選定において、選定時と設計後の契約締結時との時間経過に伴う物価変動等の取り決めを見積条件に記載するよう発注者に提案した。
4. 設計施工者の選定において、監理者と工事施工者が同一法人であることに留意して、監理者と施工者のそれぞれの役割分担を明確にすることを発注者に提案した。

問題12

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. CMrは、各種会議体の議事録を承認のうえ、重要な意思決定を行った。
2. CMrは、会議体の運営が当初計画された目的と異なってきたため、会議のあり方を修正した。
3. CMrは、工事段階の各種会議体に専門工事会社を参加させる際、専門工事会社の契約上の立場には特に配慮しなかった。
4. CMrは、予定していなかった緊急性のある議題について、時間の制約があったため、翌月の会議まで繰り延べた。

問題13

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. プロジェクト基本計画書には、プロジェクトの資金調達方法について記載する必要がある。
2. プロジェクト基本計画書は、プロジェクトの基本方針として、関係者間で必要に応じて共有される。
3. プロジェクト基本計画書の項目として、近年BCP(Business Continuity Plan)への取り組みは重要な要素となっている。
4. プロジェクト基本計画書に施設概要を記載する場合、必ずしも図面での表現は必要ではない。

問題14

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. プロジェクトの制約条件について、敷地に関する条件は発注者が事前に調査した項目でも設計段階で設計者自身がすべての調査を実施する必要がある。
2. プロジェクトの制約条件を整理するにあたっては、土壤汚染状況やアスベスト等、環境に対する調査を専門家と要否を相談して実施する。
3. プロジェクトの制約条件について、CMrの制約条件の整理に誤りがあった場合、善管注意義務違反に問われる可能性があるため、注意が必要である。
4. プロジェクトの制約条件を整理するにあたっては、旅館業法などの施設運営面で基準となる法令も調査する必要がある。

問題15

事業構想段階における次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. 事業費概算において、この段階での各概算金額はそのまま最終的な予算金額になることに注意する必要がある。
2. 事業費概算において、事業費に含まれる検討すべき項目として、不動産取得税や登録免許税は該当しない。
3. 事業費概算において、この段階においては補助金制度について資金計画へ活用できるかの検討は行わない。
4. 事業費概算において、総額は発注者の立場として、想定すべきすべての費用を見込まなければならず、別途という考え方はできないことを認識すべきである。

問題16

施工図関連業務におけるプロジェクト関係者間の役割分担で、以下の表の空欄A～Dに入る語句の組合せとして、適切なものを選びなさい。

CMr：施工図の【 A 】を行う。
監理者：施工図の【 B 】を行う。
施工者：施工図の【 C 】を行う。
設計者：施工図承認の【 D 】を行う。

1. A:承認 B:確認 C:調整 D:協力
2. A:確認 B:承認 C:調整 D:報告
3. A:調整 B:承認 C:作成 D:協力
4. A:調整 B:確認 C:作成 D:報告

問題17

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. 一定の建築物の設計は、建築士法に定められた建築士の独占業務のひとつである。
2. 基本設計段階において、設計者への支援として施工性を検討することはCMrの業務のひとつである。
3. 工事費概算書を基本設計内容に即して確認することはCMrの業務のひとつである。
4. 基本設計図書に基づき、プロジェクト基本計画書を作成することはCMrの業務のひとつである。

問題18

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. 設計者が作成した基本設計スケジュールが、マスター・スケジュールの基本設計期間に収まっているかを確認した。
2. 基本設計スケジュールの妥当性について確認するため、設計者に対し実施設計以降を含んだ設計スケジュールの作成を依頼した。
3. 基本設計スケジュールにリスクがあることが判明したが、実施設計段階で判断することとした。
4. マスター・スケジュールと整合した設計スケジュールをもとに、基本設計業務のモニタリングを行った。

問題19

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. 基本設計段階の工事概算書について、CMrは設計者に概算書の内容をチェックできる形で提出するように要請する必要がある。
2. 基本設計段階においては、VE(Value Engineering)案の検討を行いながら設計を進める必要はない。
3. 基本設計段階においては、ライフサイクルコストに関わる長期修繕計画案の作成を、CMrが行うことはない。
4. 基本設計段階では、基本計画段階に策定した工事予算書に影響を与えると思われる設計内容について、設計終了時にまとめてコスト検討を行う。

問題20

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. CMrは、基本設計の内容が発注者の意図と齟齬がある場合、発注者に報告するとともに設計者へ変更の指示を行う。
2. CMrは、基本設計段階の早い時期から施工スケジュールの検討を行い、設計内容にフィードバックする。
3. CMrは、基本設計段階において発注者および設計者が実施すべき事前協議について、助言および支援を行う。
4. CMrは、基本設計段階において敷地条件・地下仮設条件・地上仮設条件などを調査し、総合仮設計画図を作成する場合がある。

問題21

次の記述のうち**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. CMrは、発注者の承認を受けた設計と条件に変更があった場合、実施設計方針書に反映されているかを確認する。
2. CMrは、発注方式や発注区分の種類によらず、実施設計図書の構成を変えないよう設計者へ依頼する。
3. CMrは、全体スケジュールに遅延の可能性がある場合には、実施設計スケジュールの短縮を設計者へ依頼する。
4. CMrは、基本設計時に作成した工事費概算に大きな影響を及ぼす変更がある場合には、実施設計が完成してから変更設計を進めるよう調整する。

問題22

次の記述のうち**最も不適切なもの**を1つ選びなさい。

1. CMrは、設計者が作成した実施設計スケジュールに、発注者の承認に要する期間が含まれているか確認した。
2. CMrは、実施設計スケジュール作成に当たり、竣工までのスケジュールについては確認しなかった。
3. CMrは、設計者が作成した実施設計スケジュールに、クリティカルパスを記入するよう助言した。
4. CMrは、設計者が作成した実施設計スケジュールに、関係諸官庁との協議および許認可に必要な期間を記入するよう助言した。

問題23

次の記述のうち**最も不適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 実施設計段階においては、過剰な仕様になっていないか、特定のメーカーに偏った仕様になっていないかなど、仕様設定の確認が重要である。
2. 実施設計段階においては、各部位の詳細を検討し、施工上、無理のない内容となっていることを確認する。
3. 実施設計段階において、発注者の要求が大幅に変更される可能性が顕在化した場合には、発注者と協議を行ったのち、設計者に伝達する。
4. 実施設計段階においては、発注者の要望は可能な限り対応し、コストの調整は実施設計終了時に行う。

問題24

H31年国土交通省告示第98号（建築士事務所の開設者がその業務に関して請求できる報酬の基準）における工事監理に関する標準業務について、空欄に入る語句の組合せのうち、**適切なもの**を1つ選びなさい。

工事監理に関する標準業務	(1) <u> </u> A <u> </u> の説明等
	(2) 設計図書の内容の把握等
	(3) 設計図書に照らした施工図等の検討及び報告
	(4) 工事と設計図書との照合及び確認
	(5) 工事と設計図書との照合及び確認の結果報告等
	(6) <u> </u> B <u> </u> 等の提出
その他の標準業務	(1) <u> </u> C <u> </u> の検討及び報告
	(2) 工程表の検討及び報告
	(3) 設計図書に定めのある <u> </u> D <u> </u> の検討及び報告
	(4) 工事と工事請負契約との照合、確認、報告等
	(5) 工事請負契約の目的物の引渡しの立会い
	(6) 関係機関の検査の立会い等
	(7) <u> </u> E <u> </u> の審査

- | | | |
|----------------|------------|------------|
| 1. A: 工事監理方針 | B: 工事監理報告書 | C: 数量調査 |
| D: 施工計画 | E: 工事出来高 | |
| 2. A: 設計意図伝達方針 | B: 工事報告書 | C: 数量調査 |
| D: 仮設計画 | E: 工事出来高 | |
| 3. A: 工事監理方針 | B: 工事報告書 | C: 請負代金内訳書 |
| D: 仮設計画 | E: 工事出来高 | |
| 4. A: 工事監理方針 | B: 工事監理報告書 | C: 請負代金内訳書 |
| D: 施工計画 | E: 工事費支払い | |

問題25

次の記述のうち**最も不適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 実施設計段階において、工事予算と概算工事費との乖離が大きいことが判明したため、設計者へ設計変更の指示を行なった。
2. 実施設計段階において、基本設計時の概算工事費について、数量・仕様による影響を検証した。
3. 実施設計段階において、仮設工事費・現場管理費・諸経費は、工事発注計画書をもとにCMrが自ら算出した。
4. 実施設計段階において、コストに影響を与えらると思われる項目については、CMrが自ら数量および単価を確認した。

問題26

次の記述のうち**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 軽微な設計変更提案については、工事施工者との契約変更を行う必要はない。
2. 軽微な設計変更提案については、工事金額の変更を行う必要はない。
3. 軽微な設計変更提案については、発注者との事前の合意があれば発注者へ判断を求める必要はない。
4. 軽微な設計変更提案については、施工スケジュールへの影響を検討する必要はない。

問題27

次の記述のうち**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 工事施工者は、工事着工前に当該工事で必要となる施工図リストと作図スケジュールを作成し、CMrの承認を得る必要がある。
2. CMrは、工事監理者による製作図の整合性確認に疑義がある場合は、その旨を助言する必要がある。
3. 総合図に関する技術的な承認は工事監理者が行うので、CMrが総合図の内容を確認する必要はない。
4. 施工図の作成時期などについて確認・判断するのは工事監理者の責任であり、CMrが助言する必要はない。

問題28

次の記述のうち**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 工事中の検査に立ち会い、検査結果を確認して工事施工者へ報告した。
2. 工事出来高検査に立ち会い、検査結果を確認して発注者へ報告した。
3. 建築基準法第7条による完了検査に立ち会い、検査結果を確認して特定行政庁へ報告した。
4. 工事完了時の発注者検査に立ち会い、検査結果を確認して工事監理者へ報告した。

問題29

次の記述のうち**最も不適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 受領した工事監理報告書の内容に疑義がある場合は、工事監理者にその旨を通知し、修正を依頼する。
2. 受領した工事報告書の内容に不備がある場合は、工事監理者に対し、工事施工者へ指摘・指導を行うよう依頼する。
3. 受領した工事監理業務方針の内容に重大な疑義がある場合は、工事監理者に修正を指示し、発注者へ修正内容を報告する。
4. 受領した設計意図伝達業務方針の内容に疑義がある場合は、発注者の指示に従い、設計者へ修正を依頼する。

問題30

次の記述のうち**最も不適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 品質マネジメント手法において、KJ法とは、言葉の意味合いや親和性によってグループ化、図式化し、問題の所在や本質を明らかにする方法である。
2. 品質マネジメント手法において、アロー・ダイアグラム法とは、目的、手段を行列形式に並べ、相互関連の程度を整理する手法である。
3. 品質マネジメント手法において、マトリクス・データ解析法とは、マトリクス図で要素間の関連が定量化された場合の数値データの解析法である。
4. 品質マネジメント手法において、バレット図とは、問題点を頻度別に並べ累積和を併記した図である。

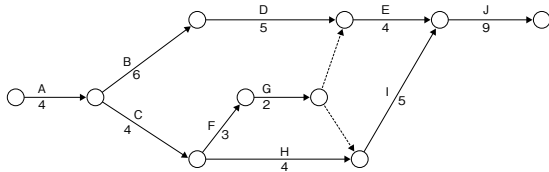
問題31

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. スケジュールマネジメントでは、ワークパッケージの検討が重要である。
2. スケジュールマネジメントでは、各作業の先行作業より後続作業のモニタリングが重要である。
3. スケジュールマネジメントでは、特殊資機材の需給関係の確認が重要である。
4. スケジュールマネジメントでは、作業の連続性の確保や資源の有効利用から決まる管理的順序もある。

問題32

下図のアロー型ネットワーク工程表についての記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。



※ノード間のアルファベットは作業、数字は作業日数を表しています。

1. 作業Gのトータル・フロートは1日である。
2. 作業Gはクリティカルパス上の作業ではない。
3. 作業Gの最遅開始日は13日目である。
4. 作業Gの最早開始日は11日目である。

問題33

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. スケジュールマネジメントにおいて、クリティカルパスや進捗ライン管理手法を取り入れることにより、ガントチャートが多くのプロジェクトで採用されている。
2. スケジュールマネジメントにおいて、クリティカルパスはスケジュール管理の上で、非常に重要な要素である。
3. スケジュールマネジメントにおいて、タクト手法を導入する場合は、サイクルを変更しても工期の短縮は期待できない。
4. スケジュールマネジメントにおいて、バーチャート手法を採用する場合は、前後の作業、クリティカルパス、進捗ライン管理手法等を取り入れることにより活用しやすくなる。

問題34

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. LEED (Leadership in Energy and Environmental Design) 認証取得には、コミッションング・プロセスが必要である。
2. コミッションング・プロセスとは、「発注者の要求品質どおりにその成果物とサービスが実現されているか」を管理していく一連の手段である。
3. 建設プロジェクトにおけるコミッションング・プロセスでは、あらかじめ設定された各段階で要求品質を確認する。
4. コミッションング・プロセスでは、記録を文書化することによって第三者の評価が可能になる。

問題35

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. プロブレム・シーキング手法の基本概念は課題発見である。
2. プロブレム・シーキング手法の特徴には、ブリーフィングによる手法との共通点が多い。
3. プロブレム・シーキング手法には、ゴール、事実、コンセプト、ニーズ、課題の5つのステップがある。
4. プロブレム・シーキング手法には、機能、形態、経済の3つのフレームがある。

問題36

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. 公共工事の総合評価方式においては、必ず技術評価が高い施工者が選定される。
2. 公共工事の総合評価方式においては、必ず価格評価が高い施工者が選定される。
3. 公共工事の価格競争方式においては、必ず施工者の入札参加資格を確認した上で選定される。
4. 公共工事の価格競争方式においては、必ず最も低価格の施工者が選定される。

問題37

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. CMrはプロジェクトの各段階において、設計内容とコストとのバランスを確認する必要がある。
2. CMrはコストに関する情報を収集の上、多角的に分析を行う必要がある。
3. CMrは提出された工事費内訳明細書の内容を確認しておく必要がある。
4. CMrは元請会社と下請会社との契約額の開示を求める必要がある。

問題38

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. ファスト・トラックとは、人員を増やすなどの追加コストを投入することで、スケジュールを短縮させる手法である。
2. ショートリストとは、設計者や施工者等を選定する際、計画の専門性等を考慮して対象会社を絞り込んだリストである。
3. WBS (Work Breakdown Structure) とは、プロジェクト全体をよりの確にマネジメントできる構成要素に分解・構造化したものである。
4. コンカレント・エンジニアリングとは、設計から施工に至る様々な業務を同時進行させ、全体スケジュールをできるだけ短期化する手法である。

問題39

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. 公共工事の積算では、メーカー見積額に対し、見積減率が必ず決まっている。
2. 公共工事の積算では、専門業者の見積を徴収する際に、必ず3社以上の見積りが必要である。
3. 公共工事の積算では、全ての単価に必ず根拠が必要である。
4. 公共工事の積算における内訳書は、指定された専用のソフトウェアを必ず使用する。

問題40

下表は、プロジェクトの各作業について、ある時点の進捗管理を示したものである。スケジュール、コストともに悪化している作業を1つ選びなさい。

(単位：百万円)

作業名	予定作業 予算コスト	完了作業 予算コスト	完了作業 実績コスト
A作業	130	150	165
B作業	160	120	110
C作業	75	50	60
D作業	10	30	20

予定作業予算コスト：BCWS (Budgeted Cost of Work Scheduled)
完了作業予算コスト：BCWP (Budgeted Cost of Work Performed)
完了作業実績コスト：ACWP (Actual Cost of Work Performed)

1. A作業
2. B作業
3. C作業
4. D作業

問題41

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. コーポレート・マネジメントでは、企業としての経営戦略、成長戦略を策定し、これをステークホルダーと共有したうえで経営活動に当たることが求められる。
2. アセット・マネジメントでは、投資家の要求や資産全体の運用戦略に沿って、投資対象不動産の購入計画の策定を行う。
3. プロパティ・マネジメントでは、主に不動産に関する資産の管理を行う。
4. コンストラクション・マネジメントでは、CMrが発注者の法的代理人としてプロジェクトを円滑に進めていく。

問題42

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. CRE(Corporate Real Estate)戦略においては、企業の不動産にかかる経営形態そのものについても見直しを行い、必要な場合には組織や会社自体の再編も行う。
2. CREにおける課題として、老朽化に伴うコストやリスクの増大、資産効率悪化などがあげられる。
3. CREとは、企業が事業を継続するために所有および貸借する不動産や遊休不動産などを指す。
4. CREにおいては、財産を維持する視点が最も重視される。

問題43

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. CASBEE(Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency)による評価指標は、「建築物の環境品質・性能」と「建築物の外部環境負荷」を使って算出される。
2. LEED(Leadership in Energy and Environmental Design)は、アメリカで開発された環境性能評価システムである。
3. BELS(Building-Housing Energy-efficiency Labeling System)は、建築物の省エネルギー性能に特化した指標である。
4. ZEB(Net Zero Energy Building)は、再生可能エネルギー等の導入に頼らず、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを達成した建築物である。

問題44

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. リスク・マネジメントとは、損害や被害が起きてから対応を行うことをいう。
2. リスク・マネジメントとは、危険や損失などの洗い出し、評価・特定を行うプロセスをいう。
3. リスク・マネジメントの一般的な手順は「①リスクの顕在化、②リスクの移転、③リスクの最小化、④リスクの回避」である。
4. リスクは、「不確実な事象」の「発生の可能性」×「被害の大きさ」で示すことができる。

問題45

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. BCM(Business Continuity Management)では、その実施手順の一つとして「事業影響度分析」および「リスク分析・評価」を行う。
2. BCMにおいて、優先的に対策を検討すべきリスクを特定することを「事業影響度分析」という。
3. BCMは、BCP(Business Continuity Plan)に包含されている。
4. BCMでは、その実施手順の一つとして「事業拡張戦略」を行う。

問題46

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. 「履行保証保険」では、受注者(保険契約者)が工事施工または業務の続行が不能となった場合、金融機関等が発注者(被保険者)に対して連帯保証債務を履行する。
2. CM賠償責任保険(日本CM協会の団体保険)は、日本におけるCM業務の普及と発展に向け、専門家であるCMrの職能を補完し、その経済的負担リスクを軽減する目的で創設された。
3. CM賠償責任保険は、日本CM協会が作成した標準業務委託契約約款・業務委託書を用いたCM契約以外はその補償対象としない。
4. CM賠償責任保険は、工事の遅れに伴う開業遅延によって発注者が被る損害は補償しない。

問題47

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. 労働安全衛生法では、工事現場の安全衛生管理に関して、CMrを責任のある立場と定めている。
2. 労働安全衛生法では、労働災害を防止するための措置義務者を「請負者」と定めている。
3. 労働安全衛生法では、元請業者は、下請負者の労働者も保護する安全措置義務を課している。
4. 労働安全衛生法では、統括安全衛生管理の業務を行う義務は、ピュアCMの場合においても発注者から直接工事を請け負った建設会社が負う。

問題48

下表は建設プロジェクトにおいて一般的に想定される損害(あるいは金銭的補償)を示している。A～Eの空欄に当てはまる保険の組合せのうち正しいものを選びなさい。なお、「(空白)」は対応する保険が一般的に入手不可能であることを示している。

想定される損害(あるいは金銭的補償)	対応する保険
公共工事の受注者の倒産に起因して発注者に発生する損害	A
公共工事の入札者の契約締結不能により発注者に発生する損害	B
工期遅延による契約違反に対する違約金により発生する損害	C
作業員の死傷(労働災害)に対する本人または遺族への金銭的補償	D
CMrのミス・不完全履行に起因して発注者から損害賠償請求を受けた場合にCMrに発生する損害	E

1. A:公共工事入札保証保険 B:履行保証保険 C:(空白)
D:請負業者賠償責任保険 E:(空白)
2. A:履行保証保険 B:公共工事入札保証保険 C:(空白)
D:労働災害総合保障、傷害保険 E:CM賠償責任保険
3. A:履行保証保険 B:公共工事入札保証保険 C:建設工事保険
D:労働災害総合保障、傷害保険 E:CM賠償責任保険
4. A:公共工事入札保証保険 B:取引信用保険 C:建設工事保険
D:労働災害総合保障、傷害保険 E:(空白)

問題49

次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

1. 日本CM協会が作成したCM業務委託書は、契約書に含まれない説明資料として構成されている。
2. 日本CM協会が作成したCM業務委託書は、発注者の要求に応じて業務項目を選択して使用する。
3. 日本CM協会が作成したCM業務委託書は、基本設計、実施設計、工事発注、工事施工の4段階で構成されている。
4. 日本CM協会が作成したCM業務委託書は、業務開始後の契約変更が不要となるよう、柔軟に構成されている。

問題50

次の記述のうち最も不適切なものを1つ選びなさい。

1. ICT(Information and Communication Technology)ツールを採用する際、運用管理者や費用負担について明確に取り決めた。
2. スケジューラー・ソフトウェアで構築した過去の成果を、別の類似プロジェクトで活用した。
3. 適切な情報の共有のため、版管理機能のあるソフトウェアを用いた。
4. 取引の透明性確保の観点から、電子調達システムの採用を見送った。

第 16 回 (2020 年度) 認定コンストラクション・マネジャー資格・試験
 < 知識試験解答 >

設問 1	2	設問 2	3	設問 3	3	設問 4	3	設問 5	1
設問 6	3	設問 7	3	設問 8	1	設問 9	3	設問 10	3
設問 11	2	設問 12	2	設問 13	1	設問 14	1	設問 15	4
設問 16	3	設問 17	4	設問 18	3	設問 19	1	設問 20	1
設問 21	1	設問 22	2	設問 23	4	設問 24	4	設問 25	1
設問 26	3	設問 27	2	設問 28	2	設問 29	3	設問 30	2
設問 31	2	設問 32	4	設問 33	3	設問 34	3	設問 35	4
設問 36	3	設問 37	4	設問 38	1	設問 39	3	設問 40	3
設問 41	4	設問 42	4	設問 43	4	設問 44	4	設問 45	1
設問 46	2	設問 47	4	設問 48	2	設問 49	2	設問 50	4

